



センターだより 12月号

今年も瞬く間に過ぎていき、あっという間に今年最後の月になりました。寒さが日に日に厳しくなってきたこの頃。ぐっと冷える日もありますが、元気いっぱいにご過ごしていきましょう。

センターの玄関の飾りも、段々と秋から冬へと季節が移ってきました。子どもさん達お手製の、かわいい「みのむし」が、マフラーをしたトトロの周りにたくさん並んでいます。どの「みのむし」も、寒そうではあるけれど、ニコニコの笑顔でお出迎えしてくれます。

最近では、外出もなかなか難しいところがありますが、屋内でも季節を感じられるような工夫をして、楽しむことができると良いですね。12月は、クリスマス飾りをみんなで作る予定です。どんな作品が出来上がるか、楽しみにしててください。



～ 12月の主な行事～

2日(水)	放課後等デイサービス
9日(水)	親子遊び(クリスマス作品制作) 放課後等デイサービス
16日(水)	放課後等デイサービス



＜ アンケートに

ご協力ありがとうございました ＞

お忙しい中、たくさんの方にご回答頂き
ありがとうございました。

今後の参考にさせていただきます。

* ホームページに結果を公表します。

(近日公開予定)

～ クリスマス遊びのお知らせ～

例年のセンター行事である「クリスマス会」は、コロナウイルス感染防止対策の為、中止とさせていただきます。今年度は、指導曜日ごとに「クリスマス遊び」を行います。少人数にはなりますが、クリスマスの雰囲気を楽しむことができればと思います。

子どもさんと一緒に、楽しい時間を過ごしましょう。(^^)



日時：12月21日(月)～25日(金)

就園児さん(各指導曜日・午後) 開始:13時30分

終了予定:14時30分頃

未就園児さん(23日・午前) 開始:10時00分

終了予定:11時00分頃

*** サンタさんによる、プレゼントタイムや職員の出し物などなど..を予定しています。お楽しみに！**

- ・ 駐車場は、センター前に停めて頂くことができます。
- ・ 開始時間に間に合うよう、余裕を持ってお越しください。
- ・ 水分補給の為のお茶等必要な方は、各自でご用意ください。(別室で飲んで頂く事ができます)





< 仲良く 虫見つけ >

昆虫と生き物が大好きな、なつくん&いおくんコンビ。ちょっぴりケンカもあるけれど、最近は仲良く凶鑑を眺めて一緒に遊ぶようになってきました。比較的暖かかった、11月のある日。センターの庭で虫見つけを行いました。花壇や芝生の中を探す二人の姿は真剣そのもの・・・すごい集中力でした。

夏と比べてバッタなど見当たらず。そもそも、捕まえられる虫がいるかな・・・と、一緒に探しながらも、ちょっと心配していた職員。長い時間が経過し・・・見つかりました！それは、小さな小さなテントウムシでした。「いたー！」「いたねー！」と、大喜びの二人。職員も一緒に大喜び。テントウムシさんありがとう(^_^;) テントウムシは、いおくんがおうちに持って帰りました。

虫捕りは、根気と集中力、手の動き、瞬発力も必要です。とり逃がしても、何度も気持ちを立て直して、再度挑戦。気持ちのコントロールにもつながります。大好きな物を「調べたいな」「知りたいな」という好奇心もとても大切な学習意欲ですね。さらに、友達と好きなことを共有できることは、大きな喜びになります。子どもの『好きなこと』『やってみたいこと』の中に、たくさんの発達要素が含まれています。いろいろな『好き』を大切にしていきたいな、と改めて感じた一時間でした。

< 避難訓練を行いました！ >

11月4日、消防署の方をお招きして、避難訓練を行いました。いつもは親子で参加していただくのですが、今回は、新型コロナウイルス対策の為、職員のみでの訓練となりました。1階から出火の想定で、避難誘導、通報訓練、消火訓練などを行いました。職員は火災以外にもマニュアルに沿って、非常時に備えています。皆さんも来所の際には是非、非常口などをご確認ください。よろしくお願いいたします。

どうしたらいい？ 子どもへの 働きかけ・ことばかけ

「インリアル・アプローチ」という、日常生活の遊びや自然な関わりの中で「ことば」の成長を促すことをねらいとしている手法の中から、いくつかをご紹介します。これらは特別なことではなく、普段、お子さんに対して自然にやっていることだと思います。それらがお子さんにとってどういう意味をもっているのか、少しだけ意識して関わると、もっと効果的かもしれません。是非参考にしてみてください。

ミラリング・・・お子さんの行動をそのまま真似してみる

大人に興味をもってもらうきっかけ作りのようなものになります。自分のやることに反応してくれて楽しい！またやってみよう！という気持ちにつながります。お話ししようとする気持ちが高まります。

【例】子どもがパチパチ拍手をしたとき、大人も同じように拍手をして見せる。

モニタリング・・・子どもの出す声やことばをそのまま真似してみる

自分の出した声や音を大人が真似してくれることで、声を出すこと、お話することって「楽しいな・嬉しいな」と、感じてもらえるように反応してあげましょう。

【例】子どもが犬を見て「わんわん」と言ったとき、大人も「わんわん」と言う。

パラレル・トーク・・・子どもの行動や気持ちを代弁してあげる

大人が代わりにことばで表現してあげることで、「この人分かってくれているな」と安心できたり、「そんなふうには言えよないんだ」ということが分かるようになります。

【例】子どもが黙って車を走らせているとき、大人が「ブブー、シュッパーツ」と言葉を添える。

セルフ・トーク・・・大人自身の行動や気持ちをことばにしてみる

大人のことばを聞くことで、物とことば、行動とことばが繋がっていきます。

【例】場面に合わせて「おいしかった」「手を洗おうかな」など、大人の心の中の言葉を表現する。

エキスパンション・・・子どもの言ったことばを広げて返してあげる

子どものことばを受け止め、意味に合わせて表現を付け加えます。大人が「理解してくれている」という安心感が持てるとともに、子どもは自分の知らない表現を学ぶことができます。

【例】子どもがぬいぐるみを抱いて「わんわん」と言ったことに、「わんわん抱っこしたね。」と返す。

